

予土線WG第1回(R1.6.10)及び第2回(R1.8.27)の取りまとめ

【地域資源を活用した観光利用促進策】

	活性化策の案	意見等
1	車内放送は高校生や住民の声を録音したものにする	<ul style="list-style-type: none"> <li>・声優による車内放送をすれば、それを目当てに乗車する</li> <li>・放送設備の費用がかかるが、費用に見合った効果があるか検討が必要</li> </ul>
2	企画列車の増強	多額の費用が課題
3	海洋堂ホビー館との連携(駅ホームや車内等にフィギュア設置、スタンプラリー等)	現状では車両ラッピングや車内でのカップの展示がある
4	バスと鉄道との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・接続の改善(例:窪川駅-松葉川温泉間)</li> <li>・鉄道・バスの時刻表を1枚で表示すればどうか</li> <li>・鉄道・バス共通乗車切符があれば良い</li> <li>・バスは生活路線のため、観光客にあわせて見直すことは難しい</li> </ul>
5	駅からバス以外の移動手段の検討(サイクルトレイン、レンタサイクル、タクシーの活用)	<ul style="list-style-type: none"> <li>一部は既の実施している</li> <li>・サイクルトレイン…一部列車には積み込み可能(実証実験中)</li> <li>・レンタサイクル…江川崎駅等で実施</li> <li>・タクシー…観光プラン「駅から観タク」を販売</li> </ul>
6	ふるさと納税を活用したフリーきっぷの提供	土佐くろしお鉄道において、ふるさと納税の返礼品として貸切列車を運行(四万十市)
7	各種企画列車の運行(ダイエットツアー、地酒・地元食、スイーツビュッフェ、皿鉢、十和バイキング、ガチャボン等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全く新しいものではなく、既にあるものを組み合わせて作成すればどうか</li> <li>・既存の「食」「地域」をテーマとしたツアーの検討</li> </ul>
8	その他 (1)観光案内や周辺マップの充実 (2)予土線拠点駅での観光メニュー化 (3)予土線3兄弟の土佐くろしお鉄道乗り入れ (4)パターンダイヤ化 (5)鉄橋を歩くツアー	

## 予土線WG第1回(R1.6.10)及び第2回(R1.8.27)の取りまとめ

## 【日常利用促進策】

	活性化策の案	意見等
1	列車内のトイレ設置と駅舎バリアフリー化の検討	多額の費用が課題
2	沿線住民へのアンケート実施	・アンケート実施方法が課題となる ・日頃利用している方にも聞くべきでは
3	ICカード導入	多額の費用が課題
4	危機意識の見える化	沿線市町の広報誌などに、予土線の現状等を掲載することを検討
5	免許返納制度の創設	免許返納前に鉄道などの公共交通に乗ってもらうことが重要ではないか
6	沿線自治体でのフレックスタイム導入	四万十町において、取り組みを検討